俳句

四月十五日　境町文化協会俳句部

兼題「行く春・草餅・鶯」他当季雑詠

草餅の 芳香嗅いで 青春想う　登（墓登一郎）
とめられぬ 過ぎゆく季節 春は行く　ちから（鈴木力）
云ひかけし 言葉遮る 初音かな　弥生（倉持弥生）
草餅や 手作りせしは 何時の日か　省三（小川省三）
お隣へ 産声残し 春の行く　信子（古谷野信子）
行く春や 客もまばらな 土手の茶屋　なか（菅谷なか）
鶯や しどろもどろの 啼き始め　譲一（遠藤譲一）
鶯の 初音に迷ふ 深山かな　久子（渡辺久子）
草餅を 供え祝うや 孫の声　幸子（大岡幸子）
山の宿 春告鳥の 声で起き　光夫（川辺充雄）
草餅の 焼ひて昔が 匂ひけり　きみ代（須賀君代）
縄張りの 藪を取り合ふ 初音かな　正六（篠塚正六）
行く春や 四国へ渡る 巡礼笠　正映（中村正己）
行く春を 黙して送り 木々の幹　仁（中村　仁）
草餅や 盆に一つの 残り福　香こ（高塚香代子）
行く春を 惜しむ間もなく 年重ね　きよ乃（中嶋清江）
行く春や 畦踏みしめて 農始め　雄節（和田節男）
はからずも 鶯の声 墓参かな　みよ子（石塚みよ子）
行く春や 半袖目立つ 下校生　まこ（島田まさ子）
草餅の 野の香やさしく 母偲う　すみ子（落合純子）

二十八年度NHK全国俳句大会入選作

佳作　妃殿下の 帽子に止まる 園の蝶　古谷野信子
入選　ペンションの ランタン灯る 十三夜　篠塚正六
入選　牡丹園 野点の傘も 咲きにけり　須賀君代
入選　一頻り 高鳴き合ふや 雨蛙　同
入選　達磨市 ごく人並の 福を買ふ　川辺充雄

第十九回長塚節文学賞入選作

入選　蘇る青田に託す 明日の夢　川辺充雄

短歌

境短歌会　山鳩

目に若葉 ぼたん桜も 咲きはじめ 季節のめぐり 目にしみ込むる　川村　米子
朝桜 隣の庭に 開花せり 訪れる人らみな癒される　風間　リヨ子
寄せ植えの マーガレットは 際立ちて 存在幸なす 女性のように　川上　ヒサ
春の風 あたり一面 咲き荒れて 桜花舞う 宵のひとときに　稲田　美重子
満開の 桜並木を 歩みつつ 老の心を 花にかたりて　飯田　俊子
ハラハラと 春を惜むか 桜散り 利根は流れし 遠つくば霞む　松岡　美智子
よべの雨 雫したたる 木蓮の 紫色ほころび 春匂うなり　本島　いと子
我が為に 買い求めいし 新家は オール電化で 歓喜歓喜なり　五月女　三枝子
上下線 途切れる間も 無く行く電車 踏切り開かず 長蛇の車　鈴木　喜与子
母の齢 はるかに越えて 振り向けば 幸せ多し 吾が人生も　桜井　レイ
大涌谷の 噴き上ぐる煙 眺めつつ 親子で食べぬ 延命たまご　斉藤　敬子

暦の上では六月は中旬より梅雨の時期に入ります。木々の緑が濃くときおり降る雨につややかに輝きしっとりとした風情ただよう入梅の頃は心に染みるような美しさが感じられる季節だとも思います。梅雨の晴れ間に見る稲のみどりも又美しいものです。後半は夏至となり徐々に夏の装いとなって来ます。梅雨の頃は気持ちもじめじめしがちですがつとめて明るく過ごし度いものです。

「広報さかい」へ有料広告を掲載しませんか？

広告募集中

広告掲載料
◎１段全枠　15,000円
◎１段半枠　8,000円

※詳しくは下記までお問合わせください。

問合せ先　役場秘書広聴課
電話　0280（81）1329
E-mail　kouhou@town.sakai.ibaraki.jp

あなたの街の
仲人おばさん紹介
体験入会男女共に
3ヶ月→5,000円 ※公的書類提出可能な方
★お見合い後交際に入った場合は正式に入会手続きが必要です。

結婚相談室チャペル　の代表遠藤明美と申します。
真剣に結婚を考えられている方のみご相談ください。全力でお手伝いいたします。
この道19年、仲人の達人！！
今すぐ・・・完全予約制
☎0280-30-7070
〒306-0011　茨城県古河市東3-5-13　イトーヨーカドー南側

はっしーポスト

のりしろ①

谷折り①

谷折り②

のりしろ②

のりしろ③

〒 ご住所	ご職業
	電話番号
お名前　　男・女　　歳	匿名の場合は、回答できませんので、ご住所・お名前等を必ずお書きください。